

計画事業番号	00471	事務事業名	不法投棄対策事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4104
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市廃棄物指導パトロール員設置規程、北広島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第35条、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条、第16条 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)第8条			
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章)	美しい環境につつまれた安全なまち
	(第 2 節)	廃棄物対策の推進
	(施策 2 )	ごみ処理体制の充実
2 対象	市内全域	
3 目的と内容	不法投棄抑制のため、廃棄物パトロール員による監視や指導を行うとともに、回収した廃タイヤ・家電等の適正な処理を行う。	
4 実施内容 (手段)	2 8 年度 まで	<b>【不法投棄対策事業】</b> ○廃棄物パトロール員2名 ○公用車借上げ ○廃タイヤ処理委託 661本 市で収集しない家電リサイクル対象製品(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)を適正処理 ○テレビ(122台・317,436円) ○冷蔵庫・冷凍庫(28台・118,680円) ○洗濯機(18台・46,364円) ○エアコン(1台・972円) 合計169台・483,452円 ※廃家電収集運搬 270,000円
	2 9 年度	○廃棄物パトロール員2名 ○公用車借上げ ○廃タイヤ処理委託 ○市で収集しない家電リサイクル対象製品(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)を適正処理 処理及び収集運搬費1,125千円(テレビ145台、冷蔵庫・冷凍庫55台、洗濯機40台、エアコン1台分)を予算措置

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
■廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収 ■廃タイヤ・家電等の処理委託	廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収(66.38t) 廃タイヤの処理委託(661本) 廃家電等の処理委託(169台)	■廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収 ■廃タイヤ・廃家電等の処理委託	■廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収 ■廃タイヤ・廃家電等の処理委託	■廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収 ■廃タイヤ・廃家電等の処理委託	■廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収 ■廃タイヤ・廃家電等の処理委託	■廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収 ■廃タイヤ・廃家電等の処理委託	■廃棄物パトロール員による不法投棄監視、適正排出指導及び不法投棄ごみの回収 ■廃タイヤ・廃家電等の処理委託

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	平成28年度から家電リサイクル事業と統合。不法投棄の抑制と不法投棄された廃棄物の処理のために必要な事業であることから、引き続き事業を実施する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			6,382		6,803		6,867		6,867	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	6,382		6,803		6,867		6,867	
	① 合計	6,382		6,803		6,867		6,867		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0	1,680	0
総事業費①+④			8,062		8,483		8,547		8,547	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	①監視パトロール員	目標値	2		2		2		2	
		実績値	2							
	②啓発用のぼり旗の設置	目標値	350		350		350		350	
		実績値	355							
③特定家電処理台数	目標値	251		241		241		241		
	実績値	169								
成果指標	① 不法投棄回収量	目標値	85		85		84		84	
		【指標の定義(算式等)】	実績値		66					
	②	目標値								
		【指標の定義(算式等)】	実績値							
	③	目標値								
		【指標の定義(算式等)】	実績値							

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	不法投棄された廃棄物は、排出者又は投棄者が特定できないため、その処理は行政が行わなければならないものであり、また、パトロール等により未然に不法投棄を防止する観点からも妥当である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	監視パトロール活動や啓発のぼりの設置のほか、不法投棄廃棄物の迅速な処理により、同一箇所への再投棄も含めて不法投棄の防止が図られている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	監視の行き届きにくい場所への監視カメラの設置等により、更なる不法投棄の防止が期待できる。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	実勢価格に則した監視パトロールや啓発物品の費用であり、廃棄物処理経費も品目毎に定められているリサイクル料金及びその運搬に係る経費であることから、コストの削減は難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--